

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 ソレイユキッズ津 保護者等数(児童数) 17 回収数 17 割合 100 %

	チェック項目	はい				今年のご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17					運動療育をできる十分なスペースが確保されている。広すぎる場合はパーテーションなどで区切っている	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15			2		職員配置数は適切である。子どもの様子によっては職員が足りないと感じることがあるため、日により配置数を増やしている。個々に応じてマンツーマンで対応している。月に1~2回、事業所内研修、支援会議を行い、適宜外部研修(ZOOM)にも参加し、専門性の向上に努めている	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17					限られた環境の中で、できる限り構造化や視覚支援を用いて、子どもたちにわかりやすいように配慮している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17					毎日活動前に清掃・消毒・喚起を行っており清潔に保たれている。運動をするため、けがをしないようカーパー・マットなど設置している	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16			1	・始めたばかりなのでわかりません	保護者のニーズを聞き取った上で、責任者と担当者によるケース会議の元、6か月ごとに個別支援計画書を作成している。職員同士で情報共有を行い、保護者にも何を目的にどういった支援を行っているのか、面談でわかりやすく説明している	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15				2	・始めたばかりなのでわかりません	児童発達支援ガイドラインに基づき一人一人の子どもの発達段階や状況により必要な支援を選択し、その上で具体的な支援内容を設定している。具体的な内容について更にわかりやすく提示できるようにしていく
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16				1	・始めたばかりなのでわかりません	個々の児童発達支援計画に基づき支援していく
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	17						運動プログラムについては3週間で変更し、残り1週はエアートランポリンを使った活動を行っている。手先を使った活動は、1週間ごとに内容を変えてそれぞれの課題を決めて行っている
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	4		7			地域交流については、個別の活動を主にしているため、指導時間の中での実施は難しいが、今後実施していきたいよう検討していきたい
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					契約時、詳細につき説明を行っているが、より周知できるように適宜説明を行っていく	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	2	1	1		定期的に面談を行い、児童発達支援計画を示しながらわかりやすく支援内容について説明している	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	12	2	1	1	・コロナなのでわかりません ・園での様子を相談させていただいたら適切な対応について参考資料もくさり教えてくださいました	家庭で取り組みやすい方法を保護者と一緒に考え、提供している。応用行動分析学を用いた支援、アンガーマネジメント(書式作成の上)、フローチャートによるSSSTのシートの利用などにより家庭支援を行っている。今後、コロナの終息と共に更に保護者向け勉強会の開催を計画していく	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	1	1	・ノートだけではなく、送迎時、LINE、面談で状況を聞けることが嬉しい	連絡帳や送迎時に伝えるようにしているが、あまり話せる時間がない時もある ラインでも共通理解を図れるようにしていきたい	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	・定期的かはわからないが、何か困ったときは気軽に相談でき親身に対応してくださる	定期的に面談を行い、保護者に対して相談及び助言を行っている ラインでの相談も随時受けつけているが、より保護者に周知できるよう取り組んでいきたい	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	3	2	1	・コロナなのでわかりません	今年はコロナ感染症の拡大により実施できなかった コロナの終息と共に研修・茶話会を実施し、勉強・交流の場としても提供していきたい
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17					苦情・相談受付窓口の詳細は、契約書の重要事項説明書に記載している 苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応している 今年度は更にラインでの相談受付も随時行っている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			1		ノートを活用し、意思の疎通や情報提供を行っているが、更にラインを活用し、保護者や子どもにとってよりわかりやすく活動内容を視覚的にも動画で知らせている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17					年に一度ホームページにて公表しているが、より周知できるよう3月の会報(毎月のおたより)にて保護者に知らせるようにしていきたい 行事予定は毎月のおたよりで、活動内容は週に一度ノートに貼って伝えている コロナによる休校時よりライン公式アカウントを作成し、連絡・情報・相談を行っている
非常時等の対応	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16			1	・逆に周りの子とコミュニケーションが取れているか 知りたいため、同じ利用の子の呼び名程度は知りたいと思う。	個人情報に関しては、個々に個別ファイルを作成し、使用時以外は鍵付きの棚に保管することで外部に情報が漏れないように管理している 不要となった個人情報に関しては、適時シュレッダーにかけるなどの対応を徹底することで漏れないように取り組んでいる 個々の情報については個別で対応を考えていきたい
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15			2	通い始めてまだ少しなので分からないです	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している 事業所出入りに掲示し、又保護者に配布することで保護者への周知を図っている
満足度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2		4		月1回行っている 全ての曜日の子どもたちが避難訓練に参加できるようにしている
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	16	1			・毎週楽しみにしています ・迎えに行くと帰りの車の中で「また行きたい」といつも言います	来所すると楽しそうだが、疲れていたり、気分次第では行き渋りが見られることもある 今後より楽しみになるよう、わかりやすく知らせていくようにする
	23	事業所の支援に満足しているか	17					更に子どもたちが楽しく通えるよう一人一人に配慮し、今まで以上に満足して頂けるよう努めていく

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 ソレイユキッズ津 保護者等数(児童数) 82 回収数 50 割合 60 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない			今年のご意見	ご意見を踏まえた 対応
			いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50					運動療育をできる十分なスペースが確保されている 広すぎる場合はパーテーションなどで区切っている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	46	1		3		職員配置数は適切である 子どもの様子によっては職員が足りないと感じることがあるため、日により配置数を増やしている。個々に応じてマンツーマンで対応している。月に1~2回、事業所内研修、支援会議を行い、適宜外部研修(ZOOM)にも参加し、専門性の向上に努めて訓練室については、タイルカーペットを引き詰めており、大きい段差はない。一部段差があるため適宜対応している
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	35	4	2	9	・必要性が無いと思われるのでそのまま良いと思う	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	48	1	1		プログラムに取り組んでいる様子だけではなく、遊んでいる様子、友達とのやりとり、過ごしている様子などよく見てもらって計画を立ててもらっていて、すごくありがたいと思っています	保護者のニーズを聞き取った上で、責任者と担当者によるケース会議の元、6か月ごとに個別支援計画書を作成しています。職員同士で情報共有を行い、保護者にも何を目的にどういった支援を行っているのか、面談でわかりやすく説明している
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	49			1		運動プログラムについては3週間で変更し、残り1週はエアランボリンを使った活動を行っている 手先を使った活動は、1週間ごとに内容を変えそれぞれの課題を決めて行っている
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	8	3	28		地域交流については、個別の活動を主に行っているため、指導時間中での実施は難しいが、今後取り組みやすい方法で検討していきたい
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	50					契約時、詳細につき説明を行っている
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47	3			・困ったことなどを相談させていただき、とても親身になってアドバイスしてくれます また私達ができなかったことも、ソレイユさんのおかげで子どもができるようになったりと本当に助けていただき、感謝しています ・とても親切に対応して下さいありがとうございます	連絡帳や送迎時に伝えるようにしているが、あまり話せる時間がない時もある ラインでも共通理解を図れるようにしていきたい
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	2			・コロナ感染防止のため今年度は行われていないので年度末にあればいいなあと思います ・コロナ禍でのSNSを利用した支援、連絡はありがたかったです	定期的に面談を行い、保護者に対して相談及び助言を行っている ラインでの相談も随時受け付けているが、より保護者に周知できるよう取り組んでいきたい
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	30	8	3	8	・今年度はコロナウイルスで難しかったです ・保護者会や集まる機会があれば参加したい	今年度はコロナ感染症の拡大により実施できなかった コロナの終息と共に研修・茶話会を実施し、勉強・交流の場としても提供していきたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	37	3		10	・その様な状況は今のところありませんでした ・これまで苦情がありません ・苦情は全くありません とても丁寧に対応してくれています	苦情・相談受付窓口の詳細は、契約書の重要事項説明書に記載している 苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応している 今年度は更にラインでの相談受付も随時行っている
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	48	2				ノートを活用し、意思の疎通や情報提供を行っているが、更にラインを活用し、保護者や子どもにとってよりわかりやすく活動内容を視覚的にも動画で知らせている

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	50				<ul style="list-style-type: none"> ・LINEの全体配信や個別の写真など、どんな活動をしているか、よくわかります ・LINEのタイムラインで活動の内容がたくさん紹介されていて、すごいなー！といつも思っています 活動の内容がよくわかり、とても参考になっています 	年に一度ホームページにて公表しているが、より周知できるように3月の会報(毎月のおたより)にて保護者に知らせるようにしていきたい 行事予定は毎月のおたよりで、活動内容は週に一度ノートに貼って伝えている コロナによる休校時よりライン公式アカウントを作成し、連絡・情報・相談を行っている
	14	個人情報に十分注意しているか	49			1		個人情報に関しては、個々に個別ファイルを作成し、使用時以外は鍵付きの棚に保管することで外部に情報が漏れないように管理している 不要となった個人情報に関しては、適時シュレッダーにかけるなどの対応を徹底することで漏れないように取り組んでいる 個々の情報については個別で対応を考えていきたい
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	48	1		1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している 事業所出入り口に掲示し、又保護者に配布することで保護者への周知を図っている
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	47			3		月1回行っている 全ての曜日の子どもたちが避難訓練に参加できるようにしている
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	41	8		1	<ul style="list-style-type: none"> ・体操の内容等によってムラがあります ・子どもの個人の成長とズレが発生した時期にかかっているため ・嫌がる時もある 	来所すると楽しそうだが、疲れていたり、気分次第では行き渋りが見られることもある 今後、より楽しみになるよう、わかりやすく知らせていくようにする
	18	事業所の支援に満足しているか	49	1			・大満足です	更に子どもたちが楽しく通えるよう一人一人に配慮し、今まで以上に満足して頂けるよう努めていく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 ソレイユキッズ津Neo 保護者等数(児童数) 23 回収数 19 割合 82.6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19					運動療育をできる十分なスペースが確保されている。広すぎる場合はパーテーションなどで区切っている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14			5		職員配置数は適切である。子どもの様子によっては職員が足りないと感じることがあるため、日により配置数を増やしている。個々に応じてマンツーマンで対応している。月に1~2回、事業所内研修、支援会議を行い、適宜外部研修(zoom)にも参加し、専門性の向上に努めている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	18	1				限られた環境の中で、できる限り構造化や視覚支援を用いて、子どもたちにわかりやすいように配慮している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	17			2		毎日活動前に清掃・消毒・換気を行っており清潔に保たれている。運動をするため、けがをしないようカバー・マットなど設置している
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	17			2		保護者のニーズを聞き取った上で、責任者と担当者によるケース会議の元、6か月ごとに個別支援計画書を作成している。職員同士で情報共有を行い、保護者にも何を目的にどういった支援を行っているのか、面談でわかりやすく説明している
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	18			1		児童発達支援ガイドラインに基づき一人一人の子どもの発達段階や状況により必要な支援を選択し、その上で具体的な支援内容を設定している。具体的な内容について更にわかりやすく提示できるようにしていく
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	18			1		個々の児童発達支援計画に基づき支援していく
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか	19					運動プログラムについては3週間で変更し、残り1週はエアートランポリンを使った活動を行っている。手先を使った活動は、1週間ごとに内容を変えてそれぞれの課題を決めて行っている
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	9	1	1	8	本人にその機会があるか?という意味なら「はい」	地域交流については、個別の活動を主に行っているため、指導時間の中での実施は難しいが、今後実施していきたいよう検討していきたい
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	18	1				契約時、詳細につき説明を行っているが、より周知できるよう適宜説明を行っていく	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	18			1		定期的に面談を行い、児童発達支援計画を示しながらわかりやすく支援内容について説明している	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	14	2		3	家庭で取り組みやすい方法を保護者と一緒に考え、提供している。応用行動分析学を用いた支援、アンガーマネジメント(書式作成)の上、フロチャートによるSSTのシートの利用などにより家庭支援を行っている。今後、コロナの終息と共に保護者向け勉強会の開催を計画していく
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	3			連絡帳や送迎時に伝えるようにしているが、あまり話せる時間がない時もある。今後共通理解ができるような時間を設けていきたい。またLINEでも共通理解を図れるようにしていく
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18		1		定期的に面談を行い、保護者に対して相談及び助言を行っている。LINEでの相談も随時受け付けているが、より保護者に周知できるよう取り組んでいきたい
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	3	1	6	今年はコロナ感染症の拡大により実施できなかった。コロナの終息と共に研修・茶話会を実施し、勉強・交流の場として提供していきたい
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19				苦情・相談受付窓口の詳細は、契約書の重要事項説明書に記載している。苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応している。今年は更にLINEでの相談受付もやっている
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	3			ノートを活用し、意思の疎通や情報提供を行っているが、更にLINEを活用し保護者や子どもにとってよりわかりやすく、活動内容を視覚的にも動画で知らせている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1			年に一度ホームページにて公表しているが、より周知できるように3月の会報(毎月のおたより)にて保護者に知らせるようにしていきたい。行事予定は毎月のおたよりで、活動内容は週に一度ノートに貼って伝えている。コロナによる休校時よりLINE公式アカウントを作成し連絡・情報・相談を行っている
19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18			1	個々に個別ファイルを作成し、使用時以外は鍵付きの棚に保管することで外部に情報が漏れないように管理している。不要となった個人情報に関しては、適時シュレッダーにかけるなどの対応を徹底することで漏れないように取り組んでいる	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	19				緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。事業所出入口に掲示し、配布もして保護者への周知を行っている
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			3	月1回行っている。全ての曜日の子どもたちが避難訓練に参加できるようにしている
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19				来所すると楽しそうだが、疲れていたり、気分次第では行き渋りが見られることもある。今後より楽しみになるよう、わかりやすく知らせていくようにする

足 度	23	事業所の支援に満足しているか	19					更に子どもたちが楽しく通えるよう一人一人に配慮し、今まで以上に満足して頂けるよう努めていく
--------	----	----------------	----	--	--	--	--	---

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 ソレイユキッズ津Neo 保護者等数(児童数) 66 回収数 49 割合 74.2 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48	1				運動療育をできる十分なスペースが確保されている 広すぎる場合はパーテーションなどで区切っている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	44	1		4	・職員の配置数はわかりません	職員配置数は適切である 子どもの様子によっては職員が足りないと感じることがあるため、日により配置数を増やしている。個々に応じてマンツーマンで対応している。今後、スタッフの専門性を表す資格など掲示していく方法を検討していく
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	43		1	5		訓練室については、タイルカーペットを引き結んでおり、大きい段差はない。一部段差があるため適宜対応している
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	46	2		1		保護者のニーズを聞き取った上で、責任者と担当者によるケース会議の元、6か月ごとに個別支援計画書を作成している。職員同士で情報共有を行い、保護者にも何を目的にどういった支援を行っているのか、面談でわかりやすく説明している
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	48	1				運動プログラムについては3週間で変更し、残り1週はエアートランポリンを使った活動を行っている 手先を使った活動は、1週間ごとに内容を変えそれぞれの課題を決めて行っている
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	7	10	24	・現在の活動のリズムが身につく楽しさにしているの で他との交流は特に必要を感じていません。 ・学校で十分頑張っている ので今のままで良いです	地域交流については、個別の活動を主にしているため、指導時間の中での実施は難しいが、今後取り組みやすい方法で検討していきたい
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	47	1		1	・毎回お迎えの時に本日の活動内容や子どもの様子をお話して下さいます	契約時、詳細につき説明を行っている
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	47	2			・お迎え時にお話して下さったり、連絡帳、LINE動画等で子どもの様子が手に取るようにわかり、また他の家族(父親等)とも共有できるのでありがたいです	連絡帳や送迎時に伝えるようにしているが、あまり話せる時間がないときもある 今後共通理解ができるような時間を設けていきたい。またLINEでも共通理解を図れるようにしていきたい
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46	1		2		定期的に面談を行い、保護者に対して相談及び助言を行っている。LINEでの相談も随時受け付けているが、より保護者に周知できるよう取り組んでいきたい
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	26	8	2	13		今年はコロナ感染症の拡大により実施できなかった。コロナの終息とともに研修・茶話会を実施し、勉強・交流の場として提供するなど、保護者同士の交流支援を行ってきたい

保護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	3	16	・トラブルになったことがないのでわかりません	苦情・相談受付窓口の詳細は、契約書の重要事項説明書に記載している。苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応している。今年は更にLINEでの相談受付も随時行っている
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	45	2	2		ノートを活用し、意思の疎通や情報提供を行っているが、更にLINEを活用し、保護者や子どもにとってよりわかりやすく活動内容を視覚的にも動画で知らせている
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	48		1	・活動内容や配布物も毎回楽しく勉強させていただいていますがLINE配信と重複している物に関しては希望者は紙の方はなしにする等もよいかと思えます ・LINEでタイムライン配信して下さったり活動内容。お迎え時間等ともわかりやすいです	年に一度ホームページにて公表しているがより周知できるよう3月の会報(毎月のおたより)にて保護者に知らせるようにしていきたい。行事予定は毎月おたよりで、活動内容は週に一度ノートに貼って伝えている。コロナによる休校時よりLINE公式アカウントを作成し連絡・情報・相談を行なっている
	14	個人情報に十分注意しているか	44		5		個々に個別ファイルを作成し、使用時以外は鍵付きの棚に保管することで外部に情報が漏れないように管理している。不要となった個人情報に関しては、適時シュレッダーにかけるなどの対応を徹底することで漏れないように取り組んでいる
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	4	6		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。事業所出入口に掲示し、配布もして保護者への周知を行っている
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	25	1	6		月1回行っている。全ての曜日の子どもたちが避難訓練に参加できるようにしている
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	41		8		来所すると楽しそうだが、疲れていたり、気分次第では行き渋りが見られることもある。今後、より楽しみになるよう、わかりやすく知らせていくようにする
	18	事業所の支援に満足しているか	47	2		・休校中等もこまめに連絡を頂いたり工夫して再開して頂いたり本当に助かりました ・体をどう動かして良いのかわからない子のためにスモールステップで分かりやすく、励ましほめて下さり少しずつですが縄跳び・跳び箱等もできるようになって着ています。先生方のおかげです	更に子どもたちが楽しく通えるよう一人一人に配慮し、今まで以上に満足して頂けるよう努めていく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 ソレイユキッズ津Sol

保護者等数(児童数)34 回収数 32 割合 94 %

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32					運動療育をできる十分なスペースが確保されている。分かりづらい時はパーテーションなどで区切っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28				4 ・2時間になってからの様子を見たことがないのでわかりません	職員配置数は適切である。子どもの様子によっては職員が足りないと感じることがあるため、日により配置数を増やしている。個々に応じてマンツーマンで対応している。月に1~2回、事業所内研修、支援会議を行い、適宜外部研修(ZOOM)にも参加し専門性の向上に努めている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	21		1		10 ・入り口が自動ドアのなので靴の脱ぎ履きの時に外に飛び出さないか心配です。	ご利用時間中は防犯対策もあり、電源を切り施錠している。また保護者対応時には手動に変えており、スタッフが玄関側に立ち飛び出しの防止に努めている。限られた環境の中で、出来る限り構造化や視覚支援を用いて、子どもたちにわかりやすいように配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32					毎日活動前に清掃、消毒、換気を行っており清潔に保たれている。運動をするため、怪我をしないようにカーペットなどを設置している。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	32					保護者のニーズを聞き取った上で、責任者と担当者によるケース会議のもと、6ヶ月ごとに個別支援計画を作成している。職員同士で情報共有を行い、保護者にも何を目的にどういった支援を行っているのか、面談で分かりやすく説明している。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32					児童発達支援ガイドラインに基づき一人一人の子どもの発達段階や状況により必要な支援を選択し、その上で具体的な支援内容を設定している。具体的な内容について更にわかりやすく提示できるようにしていく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26				6	個々の個別支援計画に基づき支援していく。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	29				3 ・通所しだして日が浅いためわかりません。 ・色々な経験をさせてくれるのでありがたいです。	運動プログラムについては4週間で変更し、プランコを使った活動も行っている。手先を使った活動は、1週間ごとに内容を変えてそれぞれの課題を決めて行っている。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			5	22	地域交流については、個別の活動を主に行っているため、指導時間の中での実施は難しいが、今後実施していけるよう検討していきたい。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32					契約時、詳細に説明を行っているが、より周知できるよう適宜説明を行っている。

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	32					定期的に面談を行い、児童発達支援計画を示しながらわかりやすく支援内容について説明している。		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか				32		家庭で取り組みやすい方法を保護者と一緒に考え、提供している。応用行動分析学を用いた支援、フローチャートによるSSTのシートの利用などにより家庭支援を行っている。今後、コロナ終息と共に保護者向け勉強会の開催を計画していきたい。		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	30	1			1	・LINEで活動の様子を動画で送って下さり、夫婦で様子を共有できとても喜んでいきます	連絡帳や送迎時に伝えるようにしているが、あまり話せる時間がない時もある。今後、共通理解ができる時間を設けていきたい。また、LINEでも共通理解を図れるようにしていきたい。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	3	1			・もう少し普段の生活の中で気を付けた方が良いことや接し方やその子に応じた方法を聞いたりしたい。	定期的に面談を行い、保護者に対して相談及び助言を行っている。また、LINEでの相談も随時受け付けているがより保護者に周知できるように取り組んでいきたい。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	10		15		今年はコロナ感染症の拡大により実施できなかった。コロナの終息と共に研修、茶話会を実施し勉強や交流の場を提供していきたい。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19				13		苦情・相談受付窓口の詳細は契約時の重要事項説明書に記載している。苦情・相談が寄せられた場合は、迅速かつ適切に対応している。今年は更にLINEでの相談受付も随時行っている。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32						ノートを活用し意思の疎通や情報提供を行っているが、さらにLINEを活用し保護者や子どもにとってより分かりやすく活動内容を動画で知らせている。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	1	1		4	・昨年はLINEなどなかったが、LINEで連絡、情報をいただけることで非常にありがたいと思います	開所当初よりLINE公式アカウントを作成し、連絡・情報・相談を行っている。年に一度ホームページにて公表しているが、より周知できるよう3月の会報でも保護者に知らせるようにしていきたい。活動内容は週に1度、連絡帳に貼ったり、ラインで配信したりして伝えている	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	30				1	1	個々に個別ファイルを作成し、使用時以外は鍵付きの書庫に保管することで外部に情報が漏れないように管理している。不要となった個人情報に関しては、適時シュレッダーにかけるなどの対応を徹底することで漏れないように取り組んでいる。	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	20	1	2		9		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。事業所出入りに掲示し、保護者への周知を行っている。
		21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7				1	24	定期的に行っている。全ての曜日の子供たちが避難訓練に参加できるように実施していく予定。
	満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30	1			1	・とても楽しみにしており、その様子を見て嬉しく思います ・毎週通うことをとても楽しみにしております	来所すると楽しそうだが、疲れていたり、気分次第では行き渋りが見られることもある。今後、より楽しみになるよう、分かりやすく知らせていく。
		23	事業所の支援に満足しているか	32					・先生方が優しく丁寧に接して下さっておかげで、親も安心して送り出すことができます。	更に子どもたちが楽しく通えるよう一人一人に配慮し、今まで以上に満足して頂けるように努めていく。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。